

<別紙> 情報提供様式

①事例名																											
1 教頭の働き方改革について 2 部活動の終了時刻の設定について																											
②学校名																											
東近江市教育委員会	連絡先 0748-24-5671																										
③取組分野(複数選択可)																											
☒ 勤務時間の意識づけに関する取組 ☒ 部活動(外部人材・地域連携・地域展開・実施日・終了時刻変更等)に関する取組 ☒ 副校長・教頭の負担軽減に関する取組(学校経営骨太モデル事業、副校長・教頭マネジメント支援員の活用等)																											
④直面していた課題(取組前の様子)																											
・市内のほとんどの教頭の月の時間外勤務が 80 時間超の状況だった。 ・市内の中学校の時間外勤務の月の平均が小学校より多い状況だった。																											
⑤在校等時間の縮減に向けた具体的取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付																										
1 教頭にアンケートを実施し、超勤の原因と解決策を課内で協議し、その結果を市内の学校に通知した。 例:ノーキョーデーの実施。 チラシ配布のデータ化(実施予定) 超勤縮減のスローガン、目標数値の設定と学校での掲示 2 R6 年度 4 月より市立中学校の部活動の終了時刻を 16:45として、17 時を下校時間と設定した。 <u>取組のポイント</u> ・<u>一過性のものにならないよう、課内で働き方改革について協議を継続した。</u> ・<u>部活動は学校教育の中で大切なものと位置づけ、学校で継続的に担っていくため、職員の勤務時間内に設定し、全ての職員が部活指導に関われるようにした。</u>	(2) 教頭職の超過勤務の要因を上位 3 つ選択してください。 ※本来の教頭業務でないもの及び他の職員でも対応可能な項目を記載しています。 【小・中】教頭職の超過勤務の要因 <table border="1"><caption>【小・中】教頭職の超過勤務の要因</caption><thead><tr><th>超過勤務の要因</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>部活動による早出出勤</td><td>約 65%</td></tr><tr><td>PTAに関する業務</td><td>約 45%</td></tr><tr><td>児童・生徒指導</td><td>約 35%</td></tr><tr><td>保護者対応</td><td>約 30%</td></tr><tr><td>登校</td><td>約 25%</td></tr><tr><td>地域からの苦情対応</td><td>約 25%</td></tr><tr><td>残業する職員の見守り</td><td>約 20%</td></tr><tr><td>配付物の仕分け</td><td>約 15%</td></tr><tr><td>電話の応</td><td>約 10%</td></tr><tr><td>学校の取組に関する業務</td><td>約 10%</td></tr><tr><td>WBCCTの推進</td><td>約 10%</td></tr><tr><td>数下校に関する対応</td><td>約 10%</td></tr></tbody></table> NO KYO DAY	超過勤務の要因	割合	部活動による早出出勤	約 65%	PTAに関する業務	約 45%	児童・生徒指導	約 35%	保護者対応	約 30%	登校	約 25%	地域からの苦情対応	約 25%	残業する職員の見守り	約 20%	配付物の仕分け	約 15%	電話の応	約 10%	学校の取組に関する業務	約 10%	WBCCTの推進	約 10%	数下校に関する対応	約 10%
超過勤務の要因	割合																										
部活動による早出出勤	約 65%																										
PTAに関する業務	約 45%																										
児童・生徒指導	約 35%																										
保護者対応	約 30%																										
登校	約 25%																										
地域からの苦情対応	約 25%																										
残業する職員の見守り	約 20%																										
配付物の仕分け	約 15%																										
電話の応	約 10%																										
学校の取組に関する業務	約 10%																										
WBCCTの推進	約 10%																										
数下校に関する対応	約 10%																										
⑦取組の成果																											
・いくつかの学校でノーキョーデーの実施。 ・中学校の時間外勤務が月平均して 5 時間以上縮減した。 <u>成果のポイント</u> ・学校全体(管理職と職員)で教頭の働き方改革についての意識が高まった。																											